

2月28日：VN指数は大型株を中心に反発

火曜日にベトナム株はまちまちの動きとなった。しかし、大型株の反発が指数を押し上げた。

ホーチミン取引所のVN指数は3.43ポイント（0.34%）高の1,024.68ポイントで取引を終えた。

月曜日も下落を続けており、2か月ぶりの安値である1,021.25ポイントを付けていた。

180銘柄が上昇したのに対して、130銘柄が下落した。

流動性は低下した。売買代金は6.48兆ドンで、出来高は4.33億株だった。

反発は大型株が主導した。VN30指数は3.5ポイント（0.35%）高の1,014.96ポイントで取引を終えた。18銘柄が上昇し、8銘柄のみが下落した。ハノイ取引所のHNX指数は下落を続けた。0.89ポイント（0.44%）安の202.38ポイントで取引を終えた。

指数を牽引したのは、銀行、製造業、不動産セクターの大型株だった。ベトコムバンク（VCB）は0.75%高、マサングループ（MSN）は2.63%高、ビンホームズ（VHM）は1.47%高だった。

一方、テクコムバンク（TCB）、ベトナム航空（HVN）、ペトロベトナム・ガス（GAS）、BIDV（BID）などが下落し相場を押し下げていた。

サイゴンハノイ証券のアナリストによると、短期的には依然として警戒ゾーンにあり、中期的な下落トレンドに入る可能性がある。短期的な投資には多くのリスクが存在している。

中長期の投資家にとっては投資のチャンスがあるだろう。市場の動向を見極め、徐々に投資することができると同社は語った。

外国人投資家は買い越しだった。ホーチミン市場では4,480億ドンを買越し、ハノイ市場では167億ドンを買越しした。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。